

3月1日 1954年太平洋のビキニ環礁でアメリカが水爆実験したことで、第五福竜丸が被曝しました。

第五福竜丸が被曝したことは、広島、長崎への原爆投下に次ぐ「日本を巻き込んだ第三の原子力災害」と言われています。これは、由々しきことです。また東日本大震災による福島第二原発の事故を経験し、日本人は、原子力に対して、もっと真摯に考え取り組まねばなりません。

このアメリカによるキャッスル作戦（水爆実験）で被害を受けたのは第五福竜丸だけではありませんでした。この年12月末までに856隻が被害を受け、これらの船から水揚げされたマグロは「原爆マグロ」と呼ばれ、約490トンが廃棄処分となりました。マグロをはじめ多くの水産物が、築地市場内に埋められ「原爆マグロ塚」が立てられました。

5月ごろからは放射能を含んだ雨が降るようになり、日本中に不安が広がりました。9月になるとソ連の核実験による北からの放射能雨も降り始め、野菜も井戸水もこの雨に汚染されました。それをきっかけに、主婦たちが原爆実験に反対する署名活動を始めました。

当初杉並の主婦によって始まった署名活動でしたが、全国に広がって1年余で当時の有権者の過半数3400万に達しました。そして翌年8月6日には第1回原水爆禁止世界大会が広島で開催されました。原水爆禁止世界大会は、名前のおり今や世界的な活動になっています。

また、岡本太郎が第五福竜丸の被曝した瞬間をテーマにして「明日の神話」を製作しました。長い間行方不明でしたが2003年に発見され、今は渋谷マークシティの京王井の頭線渋谷駅とJR渋谷駅を結ぶ連絡通路に設置されています。

3月2日 1884年後樂園が一般公開をされることになりました。

元来、池田家藩主の庭として、津田永忠によって設計されたもので、「御後園」と呼ばれていました。それが1871年池田家によって「御後園」が「後樂園」と改められ、1884年名園保存を目的に岡山県に譲渡されました。

それで一般に公開されるようになりましたが、当初は公園ではなく県庁付属地という位置づけでしたので、日没閉門などの決まりを作って保存が図られていました。

1922年には名勝に、また1952年には特別名勝に指定され「日本三名園」のひとつと言われています。しかし、1934年には洪水被害、1945年には空襲被害に遭っています。戦後は進駐軍の宿舎となり、プールが作られたこともあるそうです。

1949年再び岡山県の所有になったことで、江戸時代の絵図を元に忠実に復旧が図られ、往時の面影を今に蘇らせています。1954年からは、入園料が必要になりました。

身びいきではありますが、「日本三名園」の中でも、後樂園が最も美しい庭園だと思います。地元の方は、近くにあるこの美しい庭園を訪れないのかもしれませんが、岡山には後樂園しかない、けれども後樂園がある・・・これは本当に誇らしいことだと思います。

3月3日 1958年富士重工業が初の軽自動車・スバル360を発表しました。

スバル360は、フォルクスワーゲンの「カブト虫」に対して、小さいところから、「てんとうむし虫」と呼ばれて愛されました。

そもそも富士重工は「中島飛行機」という航空機製造会社の流れを汲んでおり、航空機技術を生かして、軽量化と限られたスペースに快適な居住空間を確保した軽自動車の生産に成功したのです。

1955年に通産省がまとめた国民車育成要綱（国民車構想）で、自動車を普及させるための条件が提示されましたが、スバル360はその条件に沿って発売されました。

その後の自動車の普及に大きく貢献し、「マイカー」という言葉が言われるようになったのも、その頃からです。それまでの国産乗用車は、数社の大手メーカーから発売されていましたが、月給が数千円という頃に100万円という高価なものでしたので、とても庶民の手が出せるものではありませんでした。

軽自動車を開発する企業はいろいろありましたが、技術的な問題、量産の問題などを克服できず成功したところが、なかったのです。

ちなみに国民車構想というのは

- ・4人が搭乗した状態で時速100kmが出せる（定員のうち2人は、子供でもよい）
- ・時速60kmで走行した場合に、1リッターのガソリンで30kmは走れる
- ・月産3,000台（構造が複雑ではなく、生産しやすいこと）
- ・工場原価15万円/販売価格25万円以下
- ・排気量350～500cc
- ・走行距離が10万km以上走っても、大きな修理を必要としないこと
- ・1958年秋には生産開始できること

スバル360は、価格42.5万円、発売第1号は松下幸之助が購入したというのは有名な話です。1958年から1970年まで12年間に約39万2千台が生産されました。丸いボディがかわいらしくて、今でも根強いファンが多いようで、たま～に走っているのを見ることがあります。中高年には、めちゃめちゃ懐かしいんですね……。

3月4日 1967年春場所で高見山が外国人初の十両に昇進しました。

今では、外国人の力士も珍しくなくなった、と言うか日本人の力士がもっと頑張りたいと思うぐらいですが、当時外国人は日本の風習になじむのに大変だったのではないかと思います。

関脇まで昇進した力道山を外国人と見るかどうかは問題のあるところですが、高見山の場合は、見るからに日本人とは違う体格であり、顔かたちでした。

しかし、笑顔の素敵なやさしい感じが多くの人に愛され、人気の力士でした。そのために出演したテレビCMも多く、丸八真綿や携帯テレビ「トランザム」など印象深いものもあります。

1972年名古屋場所で1回だけ優勝しています。40歳まで現役を続けるのが目標でしたが、直前の3月場所で引退しました。彼の引退は多くの人が惜しみ、昭和天皇もその一人だったそうです。

外国人であるが故の多くの障害や偏見があつたにもかかわらず、相撲道にまい進した高見山、けなげにも「外国人差別は一切感じなかった」と言っていたそうです。

その心が、多くの日本人に愛された所以ではないかと思えるのです。

3月5日 1908年時事新報社が日本初の一般公募による美人コンテストを開催しました。

アメリカのシカゴ・トリビューン（中西部の主要新聞社）が「ミスワールドコンテスト」を企画し、その呼びかけに応じた時事新報社が日本予選を開催しました。

「日本美人写真募集」ということで、写真選考だけでしたが、女優、芸妓などの職業モデルは応募できず「良家の淑女」を対象にしたものでした。審査員には洋画家の岡田三郎助、彫刻家の高村光雲、人類学者の坪井正五郎、医学者の三島通良、歌舞伎俳優の中村芝翫など各界の識者13名が選ばれました。

人類学者や医者・・・「日本民族、究極の美人」を選ぼうと考えたのでしょうか？

7000人もの応募の中から1等に選ばれたのが、福岡県小倉市長・末弘直方の四女、学習院女学部3年生だった末弘ヒロ子でした。当時16歳。

近所でも評判の美少女だったそうです。写真家だった義兄の江崎清が彼女に内緒で応募したのですが、1等になったのを学校に知られ退学になってしまいました。

学習院院長は乃木希典でした。しかし、後に本人の知らぬところで応募されていたことが分かり、乃木は後悔し、彼女によい縁談を探したのだそうです。

退学になったけれど、よい配偶者を娶わせればよいなんて、今の世の中では考えられませんが、伯爵夫人になったのは玉の輿だったのかもしれない。ヒロ子の次女は大原総一郎の妻になっています。

口数が少なく、健気でしおらしく、まさにミス日本にふさわしい才色兼備の女性だったようです。

3月6日 1930年アメリカのゼネラルフーズが世界初の冷凍食品を発売しました。

アメリカ、ニューヨーク生まれで「冷凍食品の父」といわれているのが、クラレンス・バーズアイです。彼は、イヌイットが釣った魚を凍らせるのを見て、急速冷凍する方法を思いついたそうです。

アメリカでは、それまでも冷凍して食品を流通させていましたが、冷凍技術の問題や適切な解凍方法がないことから食味が落ちると敬遠されることも多かったようです。

クラレンス・バーズアイは1922年に食品冷凍の会社を創業し、1925年に特許を取得しました。その後、彼は特許を売却し、その会社がゼネラルフーズになりました。

最初に売り出されたのは、肉、ハウレンソウとエンドウ、数種類の果物、カキと魚の切り身などでした。

冷凍食品はいまや、私たちの生活と切っても切り離せないものとなりました。冷凍技術のおかげで、食卓が豊かになったことは間違いありません。ただし、冷凍を過信しないことも大切です。

3月7日 1948年 警察法・消防組織法が施行されました。消防記念日でもあります。

警察は110 消防は119 火事現場には消防車だけではなくパトカーも来るし、何かとセットのような印象がありますが、警察は県の管轄、消防は市町村の管轄。ちょっと疑問に思えます。

江戸時代は、治安維持は奉行所の管理下で与力、同心、岡引の役目でしたし、火消しと言えば「め組」の町火消しや旗本の常火消しが担っていました。明治以降、消防は警察の一部として内務省の管轄におかれました。

戦後、GHQにより、それまでの中央集権的な警察組織が廃止され、国家警察・国家直属の首都警察としての警視庁と、各道府県知事が直接管理下に置く地方警察の体制になり、消防は警察から独立し、自治体消防制度が発足しました。

警察の捜査は広域捜査がふさわしく、また消防に関しては、広い管轄より狭いエリアの方が警防・救急・救助・予防・防災にきめ細かくカバーできるということでしょうか？

平時には一般市民でありながら、災害有事の際には消防の仕事に携わる消防団という存在も消防組織法に定められています。地域の安全を守るために、日ごろから訓練している消防団の人々、最近に入団する若い人が激減しているそうですが、こういう組織は大切ですよ。

3月8日 1900年フランスの旅行ガイドブック『ギド・ミシュラン』が創刊されました。

創刊当時のミシュランガイドは

自動車を運転する人のために、郵便局や公衆電話、ガソリンスタンドや修理工場、タイヤの仕組みから、チューブの交換、空気圧の調整方法までを網羅した、いわゆるドライバーズ・マニュアルだったのです。

そもそもミシュランはタイヤの販売会社なので、このガイドブックをもって多くの人がドライブに出かけ、自動車旅行が盛んになり、タイヤが売れて、ミシュランの名前が有名になり、ブランド化することを目論んだわけです。

その後、レストランやホテルを紹介するようになり、それらの店を星印でランク付けするようになったのです。最初にレストランの記事を掲載したのは1923年だったそうです。

2007年にはミシュランガイドの東京版が出版され、大いに話題になりました。

レストランが星を1つ獲得するとその店の売り上げは30%増え、ある国でミシュランガイドが刊行されると、その国でミシュランタイヤを買おうと思う人が3%増えるといわれるそうです。

ミシュランにとって日本でミシュランガイドを出版するということは、ブリヂストンの牙城を崩そうとの考え?! 他にも住友ゴムヨコハマタイヤと世界シェアの上位にあるメーカーがたくさんあるところですから・・・。

今年の5月には広島版が出るそうです。今までに東京・横浜・鎌倉・湘南・京都・大阪・神戸・奈良・北海道などが出版されています。

そして注目されるのが、星の数

- 1つ星=そのカテゴリーで特においしい料理、
- 2つ星=遠回りしてでも訪れたい料理、
- 3つ星=そのために旅行する価値のある卓越した料理

ミシュランガイドに掲載されたお店は、確かにおいしい料理を提供するお店でしょう。しかし味覚は十人十色で、必ずしもみんなが美味しいと思えないかもしれません。

ただ、レストランに行くということは、一種のエンターテイメント。盛り付けの美しさ、給仕の対応、料理の独創性、などで食事を楽しく演出することが大切なのだらうと思います。

味だけでいえば、畑でもぎたての野菜が一番美味しく、汗をかいた後のビールの喉越しに勝るものはないかもしれませんが・・・。

3月9日 1959年 ニューヨークで開催された国際おもちゃフェアでマテル社がバービー人形を発表しました。

ソフトビニール製の着せ替え人形のさきがけともいえるのが、バービー人形でしょう。このアメリカ生まれの人形は、顔立ちと言いスタイルと言い、アメリカそのものでした。

初期のバービーは made in Japan だったそうです。人件費が安く繊維産業が盛んだった日本で生産するのがうってつけだったのですが、当時の made in Japan は安かろう、悪かろうで、あまり評価は高くなかったとか。

それなのに、同じような着せ替え人形が2ドルのところ、バービーは強気の3ドルで発売されたそうです。精巧でファッショナブルなバービーは、子どもたちに大いに受けたそうです。

当時、バービー人形を作っていたのが、今はモンチッチと momoko DOLL で有名になったセキグチ、他にぬいぐるみのナカジマコーポレーションなどでした。

バービーは1962年には日本でも発売されました。そのセクシーさに日本の女の子は、さぞかし驚いたことでしょうね。1966年には中嶋製作所(前述のナカジマコーポレーション)のスカレットちゃん、翌年にタカラか

らリカちゃんが発売されています。どちらもバービーを意識して作られていますが、だんだん日本人好みの顔になっている気がします。

今でも、バービーとリカちゃんは根強い人気で、特にリカちゃんといえばソフトビニールの着せ替え人形の代名詞のように言われています。

ところで、最近のキャラクターと言えば、momoko DOLL でしょうか。なんともリアルでおしゃれです。大人のコレクター向けに発売されたとあって、お値段も結構なものです。

バービーにしても、リカちゃんやmomokoにしても、自分ではできないおしゃれに夢中になる女の子独自の世界があるようですね～

3月10日 1975年 岡山～博多間 新幹線が開通しました。

着工から丸5年、7200億円の巨額を投じた山陽新幹線岡山～博多間393キロが開通しました。東海道新幹線の誕生から10年半、東京～博多間1619キロが6時間56分で結ばれることとなりました。

当時は「ひかり」と「こだま」で1日計258本が東京～博多間を走っていました。現在「のぞみ」で5時間程度ですから、38年の間に約2時間短縮されたこととなります。それでも東京～博多間は、92%が飛行機を利用するようです。しかし大阪～博多となると8割の人が新幹線を利用しています。

もともと山陽道は古来より平野と平野を山が仕切っているために、陸路より海路が発達しました。ですから山陽新幹線、特に岡山以西はトンネルが多くなっています。（全線に占めるトンネルの割合は56.4%）東海道新幹線と比較して、山陽新幹線は、コンクリートの塩分含有量、鉄筋コンクリートの中性化、トンネルのジョイント数など、いずれも劣っているとの調査報告があります。

高速道路のトンネル崩落事故もまだ記憶に新しいのですが、建造物の欠損による事故は絶対に防いでもらいたいです。

3月11日 ジャイアント・パンダが発見された日

1869年中国四川省の民家で伝道中のフランス人神父アルマン・ダヴィドが、白と黒の奇妙なクマの毛皮を見せられ、それがきっかけでヨーロッパにジャイアント・パンダの存在が知られるようになりました。

パンダは中国では昔から知られた存在でしたし、この日をことさらに発見の日と言っているのは日本独自のことのようにです。そして、レッサー・パンダの発見の方が早かったので大きい方をジャイアント・パンダと呼びわけることになったそうです。

ところで中国語でジャイアント・パンダは熊貓（シュンマオ）、台湾では猫熊（マオシュン）というのだそうです。パンダの呼び名は、ネパールでは「竹を食べるもの」の意味があるそうです。ネパールの山奥に生息し、生態がよく分かっていなかったレッサー・パンダは、大きくなったらジャイアント・パンダになるのだと信じられていたときもあったそうです。

レッサー・パンダを見て、猫熊と名づけたとしたら納得しますね。

その後、中国で共産党が台頭して左書きに誤読され熊貓になったとする説があります。どう考えてもジャイアント・パンダと猫は結びつかない気がします。

中国の古い文献には、「竹を食べる白黒模様をしたクマのような動物」が獾と記されているのがあるそうです。時代が下ると、獾は金属を食べると言われます。また白と黒の体がマレーバクと混同されたり、夢を食べる獾のモデルになったりと・・・神秘的な存在だったには違いないですね。

今日本で飼育されているジャイアント・パンダは8頭。先日上野動物園のパンダが発情に兆しと書いていたが、今度こそ元気な赤ちゃんを期待したいですね。

3月12日 1876年官公庁で土曜半休・日曜休日制が実施されました。

日本人は勤勉な国民ですが、どのように仕事を休んでいたのでしょうか。江戸時代の職人は、1・15・28を休んでいたと書いている文献があります。またお城に勤める侍も3日に1度の24時間勤務で、あとは学問と武芸の自主的修養・訓練に充当していたそうです。節季の休みも充実しており、それほど勤勉でもなかったと述べる学者もいます。

江戸時代が終わったときに明治政府は、いままでの慣例に則り、一六日と言って、毎月1日（朔）・6日・11日・16日・21日・26日を休みとしました。しかし、諸外国とのやり取りや慣習と合わないために日曜日を休む七曜週休制を採用したのです。

官公庁では土曜日を半休・日曜日を休日とすることになりました。

ところで 半ドンという言葉は、もう死語ですね。かつて、土曜日の半日休みのことを半ドンと書いていました。ところで 半ドンの語源って何なんでしょう？

オランダ語で日曜（休日）を意味するゾンダーク（zondag）が、休日＝ドンタク、半日の休みだから半ドンとなったという説があります。また、お昼に大砲が空砲を撃つド～ンの音からきたという異説もあります。ドンタクは今では「博多どんたく」ぐらいしか聞かない言葉となってしまいました。

かつての日本人はそれほどガツガツ働く国民ではなかったとか・・・明治時代の富国強兵政策、戦時中の軍国主義、そして高度成長時代のエコノミックアニマルなど、だんだん勤勉日本人像が出来上がったようです。

3月13日 1986年 清水聡さんが生まれました。

ロンドンオリンピック ボクシング バンタム級で銅メダルを獲得した、岡山県総社市出身の清水さんです。所属は自衛隊体育学校、階級は三等陸尉、昨年9月に総社では凱旋パレードを行ったので、間近に見られた方もいらっしゃるでしょうね。どんな印象かと尋ねれば、「とにかく細い」と書いていました。そして飄々として、少々のことでは動じない感じ・・・なのだとか。そうでなければ世界の大会で成果は出せないでしょう！

そういえば、北京の代表になったときはフェザー級だったのに、ロンドンではバンタム級に落としているので、さぞかし減量は大変だったろうと思います。公表では身長179cm 体重56kgとなっています。他の自衛隊体育学校のメダリストと並べば、大きい方なのにボクシングのメダリスト村田諒太さんと並んだら小さく見えましたね。

ところで、ロンドンオリンピックでは自衛隊体育学校所属の選手が4人もメダルを獲得しました。出場した選手は13人でした。今まで、あまり聞いたことのなかった自衛隊学校ってどんな学校なのでしょう。

1960年、東京オリンピック誘致が決まったものの日本の成績は、今ひとつでした。そこで開催国の面目にかけて、存分に活躍できる選手を育成する必要がありました。外国では競技者に軍人が多かったことから、日本でも自衛隊に体育専門学校を設けてオリンピック選手を育成しようと1961年8月17日 自衛隊体育学校が創立されました。

設立間もない乏しい設備でしたが、メダルを獲得できたのが、重量挙げの三宅義信選手、マラソンの円谷幸吉選手でした。

自衛隊体育学校からオリンピックに毎回数名が出場しています。最近の大会では、めだつた活躍がありませんでしたが、メダリスト4名は久々の快挙と言ってよいでしょう。清水選手の今後の活躍をお祈りします。

3月14日 1879年 アルベルト・アインシュタインが生まれました。

言わずと知れた「相対性理論」で有名なドイツ出身の理論物理学者です。1921年には光量子仮説に基づく光電効果の理論的説明によってノーベル物理学賞を受賞しています。

第一次世界大戦中は平和主義を掲げ、戦争を公然と批判しています。またユダヤ人である彼はユダヤ人国家建設運動を支援したためナチス・ドイツから迫害を受けアメリカに亡命しました。

元来、アインシュタインは人前で滅多に笑顔を見せた事がなかったと言われていますが舌を出しているひょうきんな表情の有名な写真があります。それは1951年3月14日72歳の誕生日に、INS通信社カメラマンの「笑ってください」というリクエストに危うく応えそうになってしまい、とっさにそれを隠そうとした表情だったと言われていました。本人も気に入った写真だったようで9枚も焼き増しをしたそうです。

また、大の親日家で来日も果たしていますが、その目的はラフカディオ・ハーンが記した美しい日本を実際に自分の眼で確かめることと、科学の世界的連携によって国際関係を一層親善に導くことだったと言っています。来日中は、予定より多くの講演をこなし、また各地の観光名所も訪れています。てんぷら弁当がお気に入り、日本人のお辞儀の文化にも感心していたそうです。

天才の代名詞のように言われるアインシュタインですが、自身は「私には特別の才能はない。ただ私は、情熱的に好奇心が旺盛なだけだ」と言っています。他にも「学校で学んだことを一切忘れてしまった時に、なお残っているもの、それこそ教育だ」「人の価値とは、その人が得たものではなく、その人が与えたもので測られる」などの名言を残しています。

学校で学んだ知識なんて多くは忘れてしまうけれども、学校生活や友人、教師とのコミュニケーションや生活環境から身につけたことが教育そのものであり、学ぶことの目的は身につけたことを共同体の中で役立てて成果をだすためなのだと言っています。

アインシュタインのように好奇心が強い人は、謙虚な性格なのだろうと思います。孤高の天才というより、親しみやすくユニークな人柄だったのではないかと思えます。

3月15日 万国博デー

1970年日本万国博覧会（大阪府吹田市千里丘陵）の一般入場が開始されたことに因みます。前日3月14日に開会式が行われました。

万博と言えば子供の頃のメインイベントのひとつと言ってよいでしょう。日本の高度成長時代を象徴する出来事で、日本中が沸き立ったものです。延べ183日間の会期中、入場者総数は6421万人にもものぼり計算上は日本の人口の半数以上が訪れたことになるのだそうです。

こんにちは～ こんにちは～ 西の国から～♪

こんにちは～ こんにちは～ 東の国から～♪

三波春夫の歌も懐かしい。

岡本太郎の太陽の塔、アメリカ館の月の石、携帯電話や電気自動車、リニアモーターカーなどの展示もありましたね。

趣向を凝らした奇抜な形のパビリオンが立ち並び、そのどれにも長い行列ができていて、なかなか思い通りに観覧できなかったのと、なにせ人ごみで迷子にならないよう歩くのに精一杯だったことをよく覚えています。

テーマは「人類の進歩と調和」夢のような多くの機械や技術に「未来ってこんな感じなんだ～」と胸をときめかせたものです。当時開発中だったものが、どんどん実現していったのですよね。

3月16日 1934年瀬戸内海国立公園が雲仙国立公園、霧島国立公園と並んで日本最初の国立公園の指定を受けました。

1931年に国立公園法が施行され、それによって最初に指定されたのが、先述の3箇所でした。国立公園というのは「本を代表する自然の風景地を保護し利用の促進を図る」ために環境大臣によって指定されるものです。

小学校のときに、国立公園をすべて暗記させられました。

当時は・・・23箇所？だったかな。暗記することに何の意味があったかと思いますが、確かに場所と地名は覚えられたと思うし、旅行が好きなら行ってみたいと思ったかもしれません。国立公園はその後増えたり、範囲が広がって名称が変わったりして、現在30箇所になっています。

もっとも身近なのが瀬戸内海国立公園です。初期には小豆島の寒霞溪、香川県の屋島、岡山県の鷲羽山、広島県の鞆の浦・沼隈町周辺の備讃瀬戸を中心とした一帯のみでしたが、今は北九州市から和歌山県に及ぶ広大な公園になっています。

神戸の六甲山、赤穂御崎、和歌山の雑賀崎、鳴門海峡、観音寺の琴弾公園、屋島・五色台、日生や牛窓、王子ヶ岳、寄島・笠岡、宮島、関門海峡、佐田岬など、瀬戸内海の島嶼部や海に面する岬や湾など、多くの名勝が含まれています。

こんなに広範囲に、いろいろな所が公園に指定されているとは知りませんでした。身近なところに風光明媚な場所がたくさんあるのですね。いろいろ出かけて見なくては……。

人々の暮らしとともに存在する美しい場所、美しいまま保護し維持することはみんなの努力の賜物ですね。

3月17日 1945年第二次世界大戦、硫黄島の戦いで、米軍が硫黄島最北端まで到達し全島を占領しました。

日本軍2万3千人のうち捕虜になった210人を除く全員が戦死しました。3月21日には大本営によって硫黄島玉砕が発表されています。

米軍も2万8686人の戦死傷者（戦死6,821名・戦傷2万1865名）を出す大激戦でした。摺鉢山に米軍海兵隊によって星条旗を掲げる際に撮った写真は、米バージニア州アーリントン国立墓地（米国の戦没者専用墓地）にある「合衆国海兵隊記念碑」のモデルにもなっています。

現在、硫黄島には海上自衛隊の基地があり、自衛隊員以外の立ち入りはできませんが、許可を得た気象庁と国土地理院の職員や遺骨帰還事業の厚労省の関係者など一部の入島が許されています。

硫黄島の戦いは、2006年クリント・イーストウッドの監督でアメリカ側の視点で「父親たちの星条旗」、日本側の視点で「硫黄島からの手紙」の2本の映画が作られ話題になりました。

監督は同じですが原作がそれぞれにあって、勝っても地獄負けても地獄、そんな戦争の様子を教えてください。東西8km南北4kmの小さな島で何万人も死傷する地獄絵巻が繰り広げられたのですね。恐ろしいことです。

しかし、日米双方の立場から映画を撮ったことは意義深い気がします。勝者にも敗者にも大義があり、家族があり、血の通った人間であることを痛感します。そして犠牲になるのは、何の罪もない庶民であるということ。どんなことがあっても戦争はいけないことだと肝に銘じなければなりません。

3月18日 点字ブロックの日

1967年のこの日発明家だった三宅精一氏が考案し、岡山県立岡山盲学校に近い国道250号原尾島交差点の横断歩道周辺に計230枚を敷設した事に因み、岡山県視覚障害者協会が2010年に制定しました。点字ブロックは、岡山が発祥の地です。2010年には同所に「発祥の地」の記念碑が作られました。

通称は点字ブロックと言われますが、正式には「視覚障害者誘導用ブロック」で、ぶつぶつとした突起を何でも点字と言ってしまうのは無神経かもしれません。

三宅氏が点字ブロックを開発するきっかけになったのは、道でクラクションを鳴らされ立ちすくんでしまった視覚障害者を見たことだったそうです。危険な場所や注意を要する箇所に来たら何か分かるようにする工夫はないものか考えたそうです。

視覚障害者の人は「苔と土の境が靴を通して分かる」と言っていたのを思い出して、形・大きさ・突起の形などを変えたブロックを試して1965年点字ブロック第1号を完成させました。しかしながらこの点字ブロックを普及させるためには多額の費用を要し、しかも理解を得るためには大変な苦勞があったようです。

点字ブロックは2種類あって、まっすぐ進むしるしと、注意を要するしるしがあります。設置するのは道路工事の会社の人なので、時々間違っていることもあるそうです。

無関心であることにすら気づかない健常者たち。それってよくないことですね。もっと関心を持ちたいものです。ブロックの上に自転車を止めたり、店先の荷物を並べたりすることのないように注意しなくてはなりません。

3月19日 1949年東京の定期観光バス「はとバス」が運行を始めました。

1948年8月に設立した新日本観光が1949年3月に女性ガイドを5名採用し、都内定期観光バスの運行を始めました。当時都内半日観光の料金は250円でした。設立時の趣旨は「国内向けには新時代的で快適なサービスと提供し、外国人観光客にはこの事業を通じて新生平和日本の真の姿を紹介する」となっており、戦後復興の気合が入っています！

1953年には、本格的な外国人向けコースが運行を開始し料金は国内向けより高い700円でした。冷暖房付のバスが配備されたのも、この頃です。1950年には平和の象徴である鳩と、日の丸、日本橋をモチーフにしたマークを採用し、1963年には社名も「株式会社はとバス」と変更しました。1989年からはHとBをアレンジしたマークに変わっています。

上京して「はとバス」で都内観光をするのは、おのぼりさんの憧れ！「はとバス」に乗るのは地方や外国から観光に来た人たちばかりかと思いきや、東京都民でも知らない名所や話題のスポット、グルメツアー、貴重な体験ができるコースなど数多くのコースがあるようです。

予約がとれない人気コースも少なくないようで、一度乗って見たいと思いつつ、なかなか機会がありません。

現在の「はとバス」は黄色い車体ですが、おっちゃんが子供の頃には、確かベージュと臙脂色だったように記憶しています。父が買ってくれたおもちゃが「はとバス」でした。今から思えば多分、窓ガラスが広くなった「金魚鉢」と呼ばれていたAR470S型だったようです。

「東京に行ったら、このバスに乗って観光できるんだぞ」なんて言われていました。東京なんて遠くて、どこにあるのかもよく知らない幼い頃の話です。あの頃から「はとバス」にあこがれていたのだとしたら……もう半世紀が経とうとしているのです。

3月20日 1703年赤穂浪士が預かりの大名屋敷で切腹しました。(グレゴリオ暦)

赤穂浪士と言えば、深々と降る雪の道を吉良邸に向かい、みごと本懐を果たす討ち入りが有名ですが、桜の花とともに演出される切腹のシーンも印象的です。

浪士より浅野内匠頭の切腹シーンは、激しく舞い散る桜とともに、無念な気持ちを殊更に表すのが、お定まりのようです。浅野内匠頭の最期は1701年4月21日まだ一ヶ月以上先になりますから、ソメイヨシノではなさそう……。ソメイヨシノより少し遅い種類でしょうか？

ソメイヨシノの開花時期を調べてみれば、東京地方で最も早い満開の記録は2002年3月21日 遅い満開は1984年4月17日 岡山は早い満開が2002年3月29日 遅い満開が1984年4月15日

これを見れば、赤穂浪士の最期も浅野内匠頭の最期も桜、しかもソメイヨシノで演出できるのですね。日本的な切腹と日本の国花桜。ベタな演出ですが、だからこそ日本人の大好きなお話「赤穂義士」となるのでしょう。

今年は、桜の開花が早いようです。東京地方はこの週末が満開の予報です。岡山あたりは、もう少し先になりそうですが、春爛漫もまもなくです。

3月21日 1972年高松塚古墳で我が国初めての極彩色壁画が発見されました。

高松塚古墳は奈良県明日香村にある、藤原京期(694年~710年)に築造された、直径23m(下段)及び18m(上段)、高さ5mの二段式の円墳です。

極彩色の壁画が発見されたことは考古学、古代史、美術史をはじめ、関連分野に多くの影響を与えました。また社会的にも関心が集まり、壁画保存のため文化庁では石室内の温度や湿度の調整、防カビ処理などの保存管理1981年以降は年1回の定期点検を行っていました。

しかしながら大量のカビの発生によって壁画の劣化が顕著になり、2007年には石室が解体され国営飛鳥歴史公園内の修理施設で保存修理が行われることになりました。この作業には10年を要すると言われていますが、完全な修復は不可能だそうです。

発掘から40年以上が経ちますが、誰が埋葬されていたのか分かっていません。何人もの候補者が挙がっていますが、決定的な証拠がないために特定できないようです。美しい絵に囲まれて1000年以上眠っていたのは誰なのか気になります。

ところで、この壁画の発見は大きな話題になり、考古学ブームが起こったほどです。きれいな絵が描かれた古墳だったことは分かりましたが、それにどんな意味があるのか小学生だったので理解できませんでした。た

だ、世間が大騒ぎしていたのは覚えています。

せっかくの壁画が美しいまま保存できないのは、大変残念です。

3月22日 1970年 -第1回全日本女子プロボウリング選手権で中山律子が優勝しました。

1970年頃に、自動計算機能のあるボウリング場が増え始め、日本中にボウリングブームが起きました。当時ボウリング場は全国に3880箇所以上あったそうです。ちなみに現在は1/3以下に減っています。

そしてボウリングブームのけん引役となったのが、中山律子と須田開代子でした。

中山律子さんは高校時代からバレーボールの選手で、実業団でも2年間選手として活躍しました。その企業がバレー部を解散したために故郷の鹿児島に戻り、友人に誘われたボウリングを始めることになりました。

九州大会、全日本オープン選手権と優秀な成績を収め、東京タワーボウリングにスカウトされプロの道を目指すこととなります。プロテストのときから生涯のライバル須田開代子と競っています。

中山律子と言えば、花王フェザーシャンプーのCMで♪律子さん、律子さん、中山律子さん～さわやかフェザー～♪が印象的でした。さわやか律子さんとも呼ばれていました。TV中継でパーフェクトゲームを達成するので、インパクトは大きいですね。しかも美人だったし！

ところで、ボウリングは、いつ頃日本にやってきたのかと調べれば、江戸時代の終わり1861年に長崎にボウリング場がオープンしたのが始まりです。その3年後には横浜にもボウリング場ができています。しかし一般にボウリングを楽しむようになるのは戦後1952年東京にボウリング場ができるまで待たなくてはなりません。

まだ手動式のレーンでピンボーイと呼ばれるピンを立てる人がいたそうです。もちろんスコアは手書きです。1960年代より次第に人気が出始め、1970年代にピークとなりました。

TVでもボウリング中継は人気番組でしたね。地方都市の片田舎にもボウリング場ができて、大人も子供も夢中になっていた時代でしたね～。スポーツというより手軽な娯楽として普及していった気がします。

3月23日 1887年 所得税法が公布されました。

所得税は財政需要が増大する中新しい財源の確保とともに、すべての人に公平に収入に応じた税を負担させることを目的として制定されました。当時は年間300円以上所得のある個人で、家制度において家長とされた戸主のみに課税されるという限定された人が対象でしたので別名「名誉税」「富裕税」と呼ばれていました。

所得を5段階に区分し、税率はわずか1%から3%の累進課税方式を採用していました。この頃の税金収入に対する所得税の割合はわずか0.8%程で、国家の歳入のほとんどは地租と酒造税で占められていました。

1899年の改正で法人に課税される法人税がはじまり、1940年の改正ではサラリーマンに対する源泉徴収制度が導入されました。これによって所得税は本格的に定着したといえましょう。直接税である、所得税や法人税、

間接税である消費税・・・その兼ね合いが難しいところです。消費税率が上がると、経済にどんな影響があるのか心配です。

ブラウンのお値段、据え置きで頑張りますので、皆さんどうぞよろしくをお願いします。

3月24日 1874年ハリイ・フーディーニが生まれました。

「脱出王」と呼ばれたアメリカの奇術師。ハンガリー・ブダペスト出身のユダヤ人で、今でもアメリカでは最も有名で、奇術師の代名詞ともなっているそうです。彼のことは、確か高校の英語の教科書で知ったと思います。習った記憶のある人もいらっしゃるでしょう。

フーディーニが最も得意としたのは「脱出」で手錠や鎖で縛られたり、独房やトランクなど、とても出られそうにないところに閉じ込められたりした状態でも、いつもなぜか脱出に成功するのです。日本では、さしずめ「引田天功」といったところでしょうか。

マスコミを利用した大掛かりな宣伝を行い、大勢の人を魅了したのです。ですから、彼を見たことがない現代の人でも、マジシャンと言えばフーディーニを連想するほどなのだとか。フーディーニは奇術師、脱出芸人、スタンマン、俳優、歴史家、映画プロデューサー、操縦士、暴露人とたくさんの肩書きを持っています。人気者でしたから多くの映画にも出演して、その英姿を残しています。

フーディーニは、当時アメリカで流行していた霊媒師のインチキな手口をたくさん暴いており、それを題材にした映画が「奇術師フーディーニ ～妖しき幻想～」で2008年に公開されています。2006年には、フーディーニと同時代のマジシャンを描いた「プレステージ」という映画も作られており、どちらも面白そうです。

英語はあまり得意ではなかったけれども、フーディーニがおなかを蹴られて死んだという、残念な最期だったことは、よく覚えていました。せっかく思い出したフーディーニですから、映画も見てみようかと思えます。

3月25日 1948年川島芳子が亡くなっています。

清朝の皇族肅親王の第十四王女「愛新覺羅ケンシ」、肅親王の顧問だった川島浪速の養女になってから川島芳子と名乗りました。男装の麗人として知られ、「東洋のマタ・ハリ」の異名で知られる情報員といわれています。1948年中華民国政府によって漢奸（スパイ容疑）で銃殺刑になりました。

戦中の縮刷版新聞を見ていたとき、川島芳子の写真を見ました。中国の貴人であること、男装していること、しかも戦時中のこと、なんだか不思議な話だと思いました。川島芳子の最期について疑問視し、まことしやかに生存説があるそうです。

時代に翻弄された中国の麗人に、人々の同情が集まったのか、義経生存説のように何とか生きていて欲しいと思った人々によって作られたものだったのか？それとも、清朝を敬う台湾の人々によって助けられたのか・・・ミステリーですね～。

銃殺の時に空砲を撃つのでそれに合わせて倒れるふりをするように言われた・・・なんてプッチーニの「トス

カ」みたいで、あまりにもドラマチックです。身代わりが用意されていたとか、銃殺前と後では、髪の色が違っていたから別人だったとか……。

どうであれ、時代が大きく変わるときに、今までどおりに暮らすことができない人っているのですね。戦争が起これば、庶民にも大きな犠牲を強いることになりますが。

家あれども帰り得ず
涙あれども語り得ず
法あれども正しきを得ず
冤あれども誰にか訴えん

この句は銃殺執行後の獄衣のポケットに残されていた辞世の句だそうです。誰にも分かってもらえない寂しく悔しい心のうちが押し量れます。

3月26日 1914年島村抱月と松井須磨子の芸術座が、トルストイの『復活』を初演しました。

初演は、東京帝国劇場でしたが、このときの興行成績は芳しいものではありませんでした。ところが4月になり、大阪、京都の公演には、連日観客が押し寄せたと言います。

博愛者として知られるトルストイの思想に触れたいと思った学生や松井須磨子の歌う「カチューシャの唄」の魅力だったといわれています。カチューシャの唄は 作詞が島村抱月と相馬御風、作曲が中山晋平で、歌詞の「カチューシャかわいや わかれのつらさ」は流行語となりました。

まだ蓄音機の普及率も低い時代にレコードが2万枚も売れる大ヒットとなり、学生たちがあまりにも、この歌を歌うので禁止令が出たそうです。

カチューシャかわいや わかれのつらさ
せめて淡雪 とけぬ間と
神に願いを（ララ）かけましょうか

トルストイの「復活」は深いテーマを扱った作品ですが、このやさしく可憐な「カチューシャの唄」が劇中で歌われたら、どんな感じなのだろうかと思います。案外、切なさが引き立つのでしょうか。

この公演の成功に気をよくした、島村抱月と松井須磨子は翌年 ツルゲーネフ「その前夜」を基にした公演で「ゴンドラの唄」を再びヒットさせました。

3月27日 1901年佐藤栄作が生まれました。

第61・62・63代内閣総理大臣を務め、ノーベル平和賞を受賞しています。

ところで、英語のWikipediaに1901年生まれ 佐藤栄作の名前があり

ます。ところで英語、韓国語、中国語、スペイン語、ドイツ語 すべての Wikipedia の 3 月 27 日のところに誕生日が掲載されているのは誰でしょう。

- 1 佐藤栄作
- 2 遠藤周作
- 3 松本孝弘
- 4 梅沢春人

答えは、3 の松本孝弘さん (B' z) です。松本さんの項目は、フランス語、イタリア語でも解説がありますが、3 月 27 日にはありませんでした。

ノーベル平和賞を受賞していれば、世界的な著名人かと思いましたが、そうでもないようです。

中国語のページは日本人では声優や漫画家の誕生日が、多く掲載されていますし、韓国語のページは、どういう基準で掲載されたのか、えらくマニアックな人が掲載されています。英語のページは、それなりです。

スワヒリ語のページに 3 月 27 日に死亡した人として、ロシアの宇宙飛行士ガガーリンが掲載されていたりするから、なんだか可笑しいです。

佐藤栄作のノーベル平和賞の受賞理由は「非核三原則」の制定が評価されたからだと言われています。しかし、その後に、これはノーベル賞委員会が犯した最大の誤りと言った人たちがいます。それは、非核三原則は佐藤の本意ではなかったからだと指摘しています。

佐藤は、日本の核武装を目指していたのではないとも言われますが、結果的にノーベル平和賞を受賞したことで、核武装をあきらめざるを得なかったということなのではないでしょうか？

ところで核抑止は、あり得るのでしょうか？

このところ北朝鮮が不穏な動きをしています。狂人に刃物を持たせているような状況です。

原子力が今の人類にとって扱いきれるものではないことは周知のことです。原発も、もちろん原爆も・・・開けてしまったパンドラの箱、飛び出したのが原子力だとすれば、箱の中に残っているのは、何なのでしょう。希望に相当するものが、残っているのでしょうか？

3 月 28 日 1940 年敵性語追放の一環で、一部の芸能人は芸名の変更を強いられました。

内務省より映画会社・レコード会社の代表者に改名すべき人物が厳選され、特に英語を用いた芸名や、宮家、忠臣を揶揄した芸名などは強制的に改名させられました。

敵性語と言えば、野球で「ストライク」を「よし」と言い換えたのだなんて、聞いたことがありました。

芸名と言えば、

ディック・ミネ→三根 耕一（英語の名前だから）
藤原釜足→藤原鶏太（忠臣、藤原鎌足を揶揄している）
三笠静子→笠置シヅ子（三笠宮家と同じだから）
本庄克二→東野英治郎（マルクス主義に傾倒した役者だったから）

理由が、むちゃくちゃです。

敵性語は法律で禁止されていたものではなく、戦争に向かう国家主義的な風潮から生まれたものですが、英語や外来語などは「軽佻浮薄」であり「敵性」だとして排斥されるようになりました。

それに従わなければ、非国民と言われたのですよね。「敵性」と言われたら、攻撃・破壊・捕獲などの加害行為を加えることができるのです。

こうした国家主義が「右向け右の国民」を育て、上官や教師などに従わなければ体罰を受けることになりました。左利きさえも「右手で箸がもてない非国民」と言われたのだとか……

敵性語の基準は、あいまいで言い換えが難しいものもたくさんあり、軍需工場で使われていた ボルト、ナット、スパナなどは、そのまま使われたそうです。滑稽ですね。

サイダー→噴出水
カレーライス→辛味入汁掛飯
コロッケ→油揚げ肉饅頭
サクソフーン→金属製曲がり尺八
トロンボーン→抜き差し曲がり金真鍮喇叭（ぬきさしまがりがねしんちゅうらっぱ）

なんていうのは、ナンセンスだと思いますが

コスモス→秋桜（あきざくら）
シクラメン→篝火草（かがりびそう）
チューリップ→鬱金香（うこんこう）
プラタナス→鈴懸樹（すずかけのき）

などは、命名者のセンスのよさを感じます。

楽器の言い換えなんて、もうヤケクソ！！って感じがしますよね。笑い話のようであり、笑ってもいられない気もするし、何でも外来語を使えばいいってものでもないけど、すべてを日本語に言い換えることもできないし……

日本語のよさは大切にしたいものですね。日ごろから、意識していなければ気がつかないこともありますね。

3月29日 1848年アレクセイ・クロパトキンが生まれました。

帝政ロシアの軍人で陸軍大臣だったクロパトキンは、日露戦争時のロシア満州軍総司令官を務めた人です。

陸軍大臣時の1903年、皇帝ニコライ2世の勅命により来日し、日本の軍事力を高く評価していたので、日本との軍事衝突には一貫して反対しました。しかし、日露戦争の直前にロシア満州軍総司令官に任命され日本軍と直接対決する事となったのです。

司令官としては、あまり向いていなかったのか、日露戦争の奉天会戦も第一次世界大戦のドイツ軍との戦いも負けています。晩年は教師として故郷で穏やかに過ごしています。

釣りの好きだったクロパトキンは来日時に日本軍の将校と海釣りに出かけ、大きなボラを釣上げたという逸話が残っています。生来、軍人に向いていない人であったのかもしれませんが。

「坂の上の雲」のドラマでは臆病な愚将のような描かれ方だし、わらべ歌に非常に不名誉な名を残しています。昔、祖母がお手玉唄として歌っていました。

一列談判破裂して
日露戦争はじまった

さっさと逃げるはロシアの兵
死んでも尽くすは日本の兵

五万の兵を引き連れて、
六人残して皆殺し

七月八日の闘いに
ハルピンまでも攻め寄せて

クロパトキンの首を取り
東郷大将 万々歳

わらべ歌の残酷なこと・・・

いち、に、さん、し、ご、ろく、しち、はち、く、とう と数を数えています。

ほとんど覚えていませんでしたが、クロポトキン（クロパトキン）のところだけは、よく覚えていました。どんな人であったのかは、知る由もありませんでしたが・・・。日本にとって、まさかの勝ち戦となった日露戦争は長い間、日本人の誇りであったようです。

母が子供の頃遊んだと言う、ひし形をした二人用のダイヤモンドゲームの箱には奉天会戦を思わせる絵が描かれていました。そのゲームが作られた頃は、大陸の一部に赤く塗られている地域があったのです。イケイケと戦争色が濃くなっていった時代のことです。

3月30日 1858年 アメリカで「消しゴム付き鉛筆」の特許が出願されました。

アメリカのハイマン・リップマンは、消しゴムをニカワで鉛筆に固定させる消しゴム付き鉛筆を発明しました。その後、リップマンはこの特許をジョセフ・レケンドーファー に10万ドルで売り莫大な富を築きました。

1861年には、エバーハード・ファーバーは金属片を押し付けて鉛筆に消しゴムをつける方式を考案し、別の特許をとっています。前者は、消しゴムが芯として木製の軸の中に入っているもので、削って消しゴムを出して使うもの、後者は、金属のリングに消しゴムが取り付けられており、今でもよく見かけるものです。

この2者間で特許紛争となりましたが、連邦最高裁によって消しゴムつき鉛筆自体に新規性が認められないとし、両方の特許は無効の判決が下りました。

リップマンは、特許を売っていたので、この無効裁判は関係ありませんでしたが、現在ならこのリップマンの特許は認められたと考えられています。細かいところも消せる、とかこれ一本で事足りるというのは、従来のものとは異なった効果を期待できると考えられます。

画家だったと言われるリップマンは、消しゴムがしょっちゅう転がって無くなるのを、なんとか解決したいと考案したものだそうですが、細かいところを消すことにも長けていた消しゴム付鉛筆だったようです。

鉛筆と言えば、中庸（HB）と一硬（H）の間にFと言うのがあるのを初めて知ったときは、ちょっとした驚きでした。確か中学校の技術家庭で製図の勉強をしたときのことです。Hはちょっと硬くてガリガリした感じだし、HBだとすぐちびて、線が太くなるのだけれど、Fってなかなか使い心地がよいぞと思ったものです。

昔は、「鉛筆をなめて・・・」という言い方をすることがありました。熟考して文章を書いたり、アイデアを練ったりするという意味です。確かに明治生まれの祖父は、よく鉛筆をなめていた気がします。昔の鉛筆は品質が悪く、色がきれいに出不ないことがあったのですが、ちょっとなめてしめらせると、また書けるようになったようです。

最近は鉛筆どころか文字を手書きすることさえ少なくなってきました。由々しきことです。

3月31日 1954年総社市が市制施行しました。

近世までは、商工業者が住むところが「町」農民が住むところが「村」と区分していました。「市」という行政単位ができたのは、1888年4月に交付された市制からです。

岡山市は1889年6月1日に市制が施行されています。1889年末までに全国に39の市ができています。それまで7万以上の市町村が1万6千ほどに減少しました。これが「明治の大合併」です。

このとき岡山市は18番目に人口の多い都市でした。当時の人口は48,333人 奇しくも政令指定都市になったのと同じ18番目です。もちろん、このとき人口の多かった順に政令指定都市になったわけではありません。

1953年の町村合併法施行により1956年から1961年までに市町村数が9,868から3,472に減少したのが「昭和の大合併」と呼ばれています。県内でこの時期に市制施行しているのが、笠岡、井原、高梁、新見、そして総社なのです。

ちなみに、1999年から2006年までに市町村数が3,234から1,821に減少したのが「平成の大合併」です。

総社市と言えば、古代吉備国の中心で、総社宮の門前町、松山往来の宿場町、浅尾藩の陣屋として栄えたところで、古墳や国分寺、鬼城、雪舟ゆかりの宝福寺などがあります。

明治の始めに八部村、刑部村、小寺村が合併して総社村となったのが最初で、1896年に総社町になっています。近隣の村落を合併し、1954年市になりました。また2005年には山手村、清音村と新設合併で新しい総社市になっています。